

北海道評価機関向けサロン

ー ワンオペでも回せる「第三者評価」の実務設計を語る ー

評価実務に関わる者同士で、通常の研修では話しにくい実務上の疑問・工夫・悩みを率直に共有する場です。事務作業を標準化・システム化し、評価者が本来注力すべき「観察・対話・分析」の時間を取り戻す手法を考えます。



ゲスト 加藤正樹さん(株式会社ふくし・ファーム)

年間 150 件を超える評価実績を背景に、ゲストの持つ広報・評価実務・ヒアリング・レポート作成の実務ノウハウを共有します。特に、SNS や ICT・AI を活用したワークフローを紹介します。

主な話題提供のテーマ

○小規模評価機関・ワンオペ事務局を前提にした論点

- ・北海道の評価機関では、年間の評価件数が少なく、事務局機能が一人に集中しやすい。したがって、「理想的な評価手順」だけでなく、「少人数でも無理なく続けられる評価手順」を考える必要があります。
- ・ふくし・ファームでは、評価件数が多いことを背景に、1 件あたりの評価を効率よく進めるためのデータ体系、ヒアリングシート、文章作成フロー、利用者調査のデジタル化を継続的に整備してきました。
- ・件数が少ない評価機関でも、事前準備・ヒアリング・記録・合議・講評作成の各工程を標準化すれば、事務局の負担を抑えながら評価の質を維持出来ると考えられます。

○話題提供の柱

- ・評価機関のマネジメント：評価者確保、日程調整、事務局作業、報告書品質をどう維持するか。
- ・利用者調査の効率化：紙アンケート中心からウェブアンケートへ移行する際のメリット、課題など。
- ・ヒアリングシートの活用：評価項目ごとに聞くのではなく、園の実践や運営の流れに沿って聞き、後から評価項目へ整理する。
- ・報告書作成の効率化：ヒアリングメモをそのまま残すのではなく、利用者の姿、職員の意図、サービス提供の仕組み、成果・課題に分けて文章化する。
- ・AI 活用：下書き、校正、情報整理には有効。ただし、評価判断の丸投げ、事実確認の省略、文章表現には注意が必要。

●主 催：認定NPO法人シーズネット（北海道福祉サービス第三者評価機関）

●日 時：2026 年 9 月 25 日（金） 17:00～18:30（受付開始 16:45）

●会 場：札幌エルプラザ 3 階 多目的室（北8西3）

●参加費：2,000 円（当日、現金でお支払いください）

●定 員：20 名（先着順・定員になり次第締め切ります）

●対 象：福祉サービス第三者評価機関の担当者・評価調査者

●お申込み方法

・以下の必要事項をご記入の上、メール、FAX、または QR コードからお申し込みください。

①お名前（フリガナ）、②ご所属の評価機関名、③連絡先（携帯またはメールアドレス）、④事前質問、評価上の悩み（任意）

・お申込み・お問い合わせ先

認定NPO法人シーズネット（奥田） Email: seedsnet@abelia.ocn.ne.jp FAX: 011-701-6002



北海道評価機関向けサロン（9月25日）

申込書

申込みFAX番号 011-717-6002

ふりがな	
氏 名	
所属評価機関 ※特に所属していない場合は 主に評価に従事した評価機関名	
電 話 (日中連絡がとれる番号)	
メールアドレス	
事前質問、評価上の悩み (記載は任意)	

※お預かりした個人情報は法令その他の規範を守り適切に管理し、目的以外に使用することや第三者に提供することはありません。

お問い合わせ ； 認定NPO法人 シーズネット
011-717-6001（奥田）